

令和8年3月24日



担当課	人事課
担当者	藤村・田村
電話	(073) 435 - 1019
内線	2576・2564

## 令和7年度 職員表彰式について

次のとおり開催しますので、お知らせします。

### 1 日時

令和8年3月26日（木） 午後3時30分 開式

### 2 場所

市役所本庁舎14階 大会議室

### 3 式次第

開式

表彰状授与

お祝いの言葉

受賞者代表挨拶

閉式

市長と記念撮影

### 4 表彰の目的

職務に精励し、他の模範となるべき顕著な功績があった職員を表彰し、もってその功労に報いるとともに職員の勤労意欲の高揚と業務能率の向上を図ることを目的とする。

### 5 表彰の要件

- (1) 職務に関し有益な研究、発明、改良等を行い、又は職務に精励し、他の模範となる顕著な業績があったと認められる職員
- (2) 職務外において、広く一般の賞賛を受け、他の模範となる顕著な功績があったと認められる職員

### 6 受賞者

別紙のとおり

令和7年度 職員表彰 被表彰者一覧

表彰区分	表彰分野	所属名	職名	氏名	表彰事由等
功労職員	成績顕著	危機管理局 危機管理部 総合防災課	班長	松田 修亮	能登半島地震での現地派遣経験を活かし、これまでになかった各種防災協定を提案・締結するとともに、既存の協定を補強・充実するため、「スフィア基準」を踏まえた協定の締結に寄与した。また、庁内外を問わず信頼関係を築き、大規模災害時に迅速に連携できる体制作りにも貢献している。
		市民環境局 環境部 環境政策課	技術主任	林 壮紀	本市の公共施設で初となるPPA方式による太陽光発電設備及び蓄電池の設置を行い、初期費用及び増額費用なしで再生可能エネルギーを導入したことで、電気料金単価の大幅な削減効果、温室効果ガス排出量の削減効果を上げた。
		都市建設局 道路河川部 道路管理課	班長	森栗 昌英	道路施設のメンテナンス事業を滞りなく遂行し、加太地区の地すべり対策の円滑な事業進捗を図るなど、市民の安全・安心の確保に努めた。また、道路照明等LED化事業の道筋を確立し、横断歩道橋ネーミングライツ事業でも中心的な役割を果たした。
	職務精励	総務局 総務部 デジタル推進課	班長	岡田 貴司	庁内DX推進の中核として「DXソムリエ」の運用開始など、多岐にわたる事業を主体的に牽引。また、ソフトバンク株式会社との連携協定締結や窓口BPRの推進、ドローン配送のスマートシティ実証実験補助金事業などの事業を同時並行で取りまとめた。
		財政局 税務部 市民税課	事務副主任	藺田 萌	税制度をよく理解し、正確かつ的確に事務を行っており、常日頃から市民目線に立った対応に対し、多くの市民から感謝、称賛の言葉をいただく。業務の進捗管理や準備を欠かさず、同僚や後輩職員に対しても助言を行うなど、他の職員に多大な影響を与えている。
		健康局 保険医療部 保険総務課 斎場	場長	深日 克浩	火葬後の残骨灰に含まれる有価物を売却し、財源として活用する本市初の取組において、事業化に向けた中心的な役割を果たした。また、適正売却による財源活用により、市民サービスの向上に寄与した。
		福祉局 こども未来部 保育こども園課	保育専門員	橘 美佐	豊富な経験と専門性を活かし、市内保育施設の運営課題に対し、迅速かつ的確な指導を行っている。保育職員へのきめ細やかなサポートは、不安解消や離職防止に重要な役割を果たし、専門技術の向上、保育行政での質の高いサービス提供に大きく貢献している。
		企業局 下水道部 下水道管理課	技術主査	久保 雅敬	埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、国交省から実施要請があった下水道管路の全国特別重点調査を遂行した。また、過去に陥没履歴がある幹線において、改築に向けた検討や各計画との整合性等の把握に努め、積極的に老朽化対策に取り組んでいる。
		教育委員会 学校教育部 教育研究所	企画員	楠本 祐一	市立小中学校の全児童生徒が1台ずつ使用している端末の管理方法の見直しを図ったほか、学校・保護者間の連絡メールのアプリ化を推進した。専門的知識と豊富な経験から、教育DXの推進に大きく貢献している。
		功労職域	成績顕著	〔大学等の誘致・連携グループ〕 市長公室 企画政策部 シティプロモーション課	副課長 班長 企画員
〔商工振興班〕 産業交流局 産業部 商工振興課  市民環境局 環境部 収集センター（R6 商工振興課）	班長 事務主査 事務主査 事務主査 事務主任 事務副主任 班長			島田 佳典 輪宝 努 松尾 和彦 安田 誉仁 武田 勝善 谷内 峻也 郡 泰寛	港まつり花火大会の実施主体であった和歌山港振興協会の解散により、新たに実行委員会事務局を商工振興課が担うこととなった。新体制の構築や現場関係者への業務継続の協力依頼、新規協賛企業の獲得など、今までにない業務を遂行し、キッチンカーの新規出店やドローンショーの導入など、新たなコンテンツを取り入れ、観客数、企業・個人協賛金とも増加した。港まつり花火大会を無事盛大に開催できた功績は大きい。